

知の広場

～プロフェッショナルに会える場所～

この夏、学問の現場においてその道を極めた、まさに第一線で活躍されている「プロフェッショナル」の方々をお招きし、最先端の研究内容はもちろん、様々な考え方に触れることのできる文化イベント「知の広場」を開催します。インターネットや情報誌では得られない生の現場の話を聞き、改めて学びの楽しさを実感してください。河合塾講師陣の登場も見逃せません。

塾外生(中学生も参加可)・保護者の方や一般の方の参加も可能です。奮ってご参加ください。

PART 1 日本の家族と法 —その特殊性と問題点を考える—

東北大学大学院法学研究科教授 水野 紀子先生

7月18日(木) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

非嫡出子の相続分違憲決定や、夫婦同氏合憲判決など、近年、民法の家族法について、最高裁の憲法判断が続いている。家族にかかわる問題は、もっとも身近であるだけに、議論や価値観の対立が先鋭化しがちである。しかし民法は、矛盾対立する多様な正義の妥協と共生を図る秩序法である。歴史的に、そして比較法的に、日本家族法の特徴と問題点、そして今後を考えてみたい。

PART 2 特撮・アニメにおける平成の三十年

特撮・アニメライター 池田 誠

7月23日(火) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

平成の三十年間、経済や情報などの社会的分野においてグローバル化が進んだ一方で、文化的な分野においては一部の人が知らない、あるいはその時期の人が知らない、そんなローカル(局所的)なものが増え、その意味での「ローカル化」が進んだといえる。文化の一種である「特撮・アニメ」も同様で、この三十年間のあり方を捉えるにはこのローカル化がキーワードとなる。そこで、今回は、その「特撮・アニメ」のローカル化現象を軸に、そこにおける様々な試み、その影響や結果などを概観していきたい。

PART 3 東日本大震災の経験と教訓を世界に発信する —災害科学国際研究所のミッション—

東北大学災害科学国際研究所教授 今村 文彦先生

7月24日(水) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

人類の歴史の中で初めての経験した東日本大震災は、地震・津波・火災そして原発という広域で複合災害でした。この経験と得られた教訓を整理し、国内外に伝える必要があります。特に、2015年国連防災世界会議で提案された仙台防災枠組を世界に発信し、今後も発生するであろう自然災害に対して未然に防ぎ発生した災害を少しでも軽減していく研究活動を紹介いたします。

現代文と格闘する 近代文学史

河合塾 国語科講師 三浦 武先生

☆PART 4 7月25日(木) 17:00～19:00 アカデミア館4階A43教室

☆PART 5 8月6日(火) 17:00～19:00 アカデミア館4階A43教室

二葉亭四迷が日本最初の西欧的近代小説を構想執筆していたとき、伊藤博文は近代日本の礎というべき憲法の、その草案を練っていました。日本の近代化は、自らの内的成熟とその延長にではなく、西欧という他者に自らを同化させようという、いわば自己否定を伴った格闘を通して一挙に図られたのです。文学や芸術が、ほとんど余暇の優雅な趣味であるかのごとくに貶められつつある現在、明治大正期の文学者の相貌を通してその切実な意味を問い返して参りたいと思います。【PART 4とPART 5は同一内容です】

PART 6 「夢をつかむ」

—私はこうしてプロ野球のグラウンドに立ち、闘った。—

元日本プロ野球審判技術委員 山崎 夏生氏

7月28日(日) 15:10～16:40 アカデミア館5階A53教室

北海道大学野球部で補欠だった一人の青年が、「野球を愛している」、その一念だけで新聞社を辞めて、プロ野球の審判の世界に飛び込み、テスト生からプロの現場に審判員として立つまでの苦労。さらに、華やかなカクテル光線に照らされた全国の球場で、野次と闘い百戦錬磨の監督たちに罵倒されながらも、最後まで試合を支える審判の知られざる苦勞と厳しさ。

イチローの200本安打も、野茂のトルネードから繰り出されるフォークも、ダルビッシュの高速スライダーも、田中将大の奪三振ショーも、それら全ては審判の判定あればこそ。そんなプロの超絶美技を最も近くで見て、裁いてきた山崎夏生審判の29年にわたる汗と涙と絆の物語。今回は特別に明日を目指す受験生諸君に向けて、自身の受験生時代の話も含めて受験生の心を熱く鼓舞する。

山崎夏生氏…プロ野球バ・リーグ審判員として1982年以来29年間一軍公式戦1451試合に出場。歴代1位17回もの退場宣告を行った審判として「記憶に残る活躍」をする。

チャレンジ世界遺産検定

河合塾 地歴科講師 賀川 光章先生

☆PART 7 7月30日(火) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

☆PART 8 7月31日(水) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

世界遺産マイスターの資格を持つ私(賀川)が、いくつかの世界自然遺産・文化遺産をとりあげながら解説を行います。前半は、実際の世界遺産検定で出題された問題(4級～2級)を解きながら、世界遺産及び近年受検者が増加している世界遺産検定についての理解を深めます。後半は、地理っ子の旅心を刺激するスライドショーです。世界遺産以外の写真も含めて広く世界の光景をご覧ください。授業の復習や将来の皆さんの旅のヒントになるかもしれないし、ならないかもしれませんが。

いろんな世界を見てみたいという地理っ子諸君、ぜひ地図帳を片手に集合せよ…。

【PART 7とPART 8は同一内容です】

PART 9 動物の生き生きとした動きのからくりを探る

東北大学電気通信研究所教授 石黒 章夫先生

8月1日(木) 18:50～20:20 アカデミア館4階A43教室

実世界環境下をしぶとくタフに動き回るロボットの実現には依然として多くの課題が山積しています。一方、動物は、原初的な種であっても、実世界環境にうまく適応しながら動き回ることができます。この差は一体どこから

生まれているのでしょうか？われわれの研究室では、動物が示す生き生きとした動きのからくりを、ロボット工学、数学、そして生物学という異なる学問領域を自在に行き来しながら調べています。本講演では、身近な動物の動きに潜むからくりに関する最新の研究成果を紹介したいと思います。さらに、大学とはどういうところなのかについても体験談を踏まえつつわかりやすく紹介したいと思います。

PART 10 言葉がわかる人工知能をつくるー自然言語処理の挑戦ー

東北大学大学院情報科学研究科教授 乾 健太郎先生
8月2日（金） 18：50～20：20 アカデミア館4階A43教室

人は言葉を使って意志を伝え、考えをまとめ、知識を記録します。ロボットの頭脳となるコンピュータ（＝人工知能）もいつか同じように言葉が使えるようになるでしょうか？言葉の理解は人工知能の中でも最も難しい問題の一つ。何が難しいのか？解決の糸口は？言葉を易々と使いこなす人の知能の不思議に触れながら、言葉がわかるコンピュータをつくる人工知能研究の最前線、そして多言語の自動翻訳やビッグデータの解析などの産業応用の広がりを紹介します。

PART 11 日々のストレスと闘うーストレスマネジメント入門ー

河合塾 英語科講師 竹内 利光先生
8月9日（金） 18：50～20：20 アカデミア館4階A43教室

日々さまざまなストレスを感じていませんか？友達との関係、家族との関係、勉強の悩み…ストレスの種はたくさんあります。この講演では心理学の立場からストレスにまつわる理論について話をしていくとともに、日々のストレスを少しだけ和らげる方法を紹介していきます。多くの人の参加を待っています。

PART 12 Exceeding your potential with a Growth Mindset
ー自分の可能性を伸ばす「成長するマインドセット」ー

宮城教育大学准教授 エイドリアン・リース先生
8月13日（火） 18：50～20：20 アカデミア館4階A43教室

このプレゼンテーションでは、みなさんが自分の可能性を伸ばし、学習やさまざまなことの成功に向かっていくことにつながる思考法や学習心理について取り扱います。
具体的には「暗黙の理論（暗黙の知能観）」の入門編と、「Growth Mindset」と「Fixed Mindset」の違いについて説明します。その後、アクティブラーニング、英単語の覚え方、リーディングやライティングがうまくできるようになるコツなどの様々な勉強方法について一緒に考えます。この講演は基本的に英語で行います。参加者にはただ話を聞くだけではなく、意見を述べたり、ワークに参加したりすることを期待します。

PART 13 元号を考える！

河合塾講師 瀬下 譲先生（英語科）、川本 和彦先生（公民科）、岩見 徳夫先生（小論文科）

9月4日（水） 18：50～20：20 アカデミア館4階A43教室

5月1日、新しい元号（令和）がスタートしました。新しい時代が始まったという期待感がマスコミや人々の間に感じられます。海外メディアからも、多くの論評が加えられています。この日本独自の文化とも言える元号について、考察したいと思います。

発祥の地である中国ではすでに廃止されてしまった元号とはそもそもどのような制度なのか。海外ではどのように受け止められているのか。明治維新、大正デモクラシー、昭和恐慌、平成不況などと用いられているが、元号と時代との関わりというものは何なのか。

私たち日本社会と文化の深みに切り込むキーワードとして、元号について考えていきたいと思います。
河合塾講師陣によるコラボレーション企画です。英語科講師瀬下先生による英字新聞を用いた特別授業（入試予想問題でもあります）、小論文科講師岩見先生、公民科講師川本先生による特別講演を予定しています。講演後には、みなさんからの感想も期待しています。

お申込・お問い合わせ

河合塾仙台校 大学受験科

10:00～18:00（日・祝除く）
☎0120-198267

河合塾仙台校 高校グリーンコース

13:00～19:00（日・祝除く）
☎0120-198244

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-12-12

主催（学）文理学院

会場

